

◎高松市生涯学習基本計画「いきいき高松まなびプランⅢ」の推進状況について

[1]概要

高松市生涯学習基本計画「いきいき高松まなびプランⅢ」（計画期間：平成25年～29年度）に掲載した全事業について、事業担当課で評価点（様式1）及び達成度（様式2）の自己評価を行いました。

*再掲事業は除く。

●（様式1）取組事業推進状況一覧 *再掲事業（54事業）を除く実事業数とする。

基本方針	施策体系	事業数	評価点別 事業数						平均 評価点	基本方 針ご との 平均 点
			5点	4点	3点	2点	1点	評価不可		
Ⅰまなぶ	1 ライフステージに 応じた学びの環境づ くり	44	20	15	6	2	0	1	4.2	4.4
	2 家庭の教育力の向 上	18	4	11	3	0	0	0	4.1	
	3 学校における多様 な学びの機会の充実	22	11	9	1	0	0	1	4.5	
	4 地域の教育力の向 上	22	12	7	2	0	0	1	4.5	
	5 学びの場の充実と 活用	11	5	6	0	0	0	0	4.5	
Ⅱいかす	1 学びの成果を活か せる環境づくり	10	3	2	3	0	0	2	4.0	4.0
	2 社会参加と自己表 現につながる学びの 機会の充実	6	2	2	2	0	0	0	4.0	
Ⅲつなぐ	1 学びでつなぐ人や 地域のネットワーク づくり	9	4	3	1	0	0	1	4.4	4.4
	2 地域を担う人材・ 団体の育成	14	3	9	1	0	0	1	4.2	
	3 豊かな学習資源の 充実	14	9	1	3	0	0	1	4.5	
Ⅳひろげる	1 生涯学習情報の拡 充	13	6	5	2	0	0	0	4.3	4.4
	2 生涯学習における 情報化の推進	7	4	2	1	0	0	0	4.4	
	総 合 計	190	83	72	25	2	0	8	4.3	

- ★評価点：5点（設定した目標が達成されている等、十分成果が上がっている）
 4点（成果が上がっているが、更なる取組による成果向上の余地がある）
 3点（一定の成果が上がっているが課題もあり、更なる改善が必要である）
 2点（成果が十分に上がっておらず、更なる改善が必要である）
 1点（抜本的な見直しが必要である）

●（様式2）目標達成状況一覧

*再掲事業（54事業）を除く実事業数とする。

基本方針	施策体系	事業数	達成度別 事業数					平均評価点	基本方針ごとの平均点
			A	B	C	D	評価不可		
I まなぶ	1 ライフステージに応じた学びの環境づくり	44	23	11	8	0	2	3.4	3.4
	2 家庭の教育力の向上	18	4	12	1	0	1	3.2	
	3 学校における多様な学びの機会の充実	22	12	7	2	0	1	3.5	
	4 地域の教育力の向上	22	12	7	2	0	1	3.5	
	5 学びの場の充実と活用	11	5	5	0	0	1	3.5	
	施策体系にはないが、目標値の設定がある事業（*1）	2	0	1	0	0	1	3.0	
II いかす	1 学びの成果を活かせる環境づくり	10	2	3	3	0	2	2.9	3.2
	2 社会参加と自己表現につながる学びの機会の充実	6	4	1	1	0	0	3.5	
	施策体系にはないが、目標値の設定がある事業（*1）	1	0	0	0	0	1	0	
III つなぐ	1 学びでつなぐ人や地域のネットワークづくり	9	6	1	1	0	1	3.6	3.4
	2 地域を担う人材・団体の育成	14	3	7	2	0	2	3.1	
	3 豊かな学習資源の充実	14	8	4	1	0	1	3.5	
IV ひろげる	1 生涯学習情報の拡充	13	5	3	2	0	3	3.3	3.4
	2 生涯学習における情報化の推進	7	4	1	1	0	1	3.5	
	総合計	193	88	63	24	0	18	3.4	

（*1） No.149 図書館図書市民一人あたり貸出冊数（年間）

No.150 生涯学習をしている人の割合（市民意識アンケート調査）

No.171 ボランティア活動に参加した人の割合（市民意識アンケート調査）

★達成度：A（目標を達成した。目標値の100%以上）

B（概ね計画どおり進行した。目標値の80%以上100%未満）

C（計画よりも遅れた。目標値の80%未満）

D（未着手のまま）

★評価点：A→4点、B→3点、C→2点、D→1点で平均評価点を作成。

[2]分析結果

様式2の評価で、前年度と比べて、BからAなど、評価が良くなった事業は、26事業であった。各課で、参加者に興味を持っていただけるよう内容の充実を図るほか、ホームページや広報だけでなく学校、支所・出張所、コミュニティセンターへチラシ等を設置するなど周知方法にも工夫を凝らしたことなどが要因である。一例をあげると、生涯学習課が立ち上げている、子ども向けホームページ「きっずの森」では、内容をより充実させるだけでなく、利用者数を増やすためQRコードを作り、QRコードを貼りつけた卓上POP等を図書館やこども園運営課など、子ども達が集まる場所の窓口に設置したところ、前年度と比べ、アクセス数が大幅に上昇した。

一方で、前年度と比べて、AからBなど、評価が下がった事業は、49事業であった。これは、施設の修繕等の理由により事業の開催ができなかったものがあるほか、講座の開催事業では、内容の充実を図り、開催回数等についても工夫を凝らしたものの、参加人数が伸び悩んだ事業が多かったことなどが要因である。

また、基本方針別では、「Ⅱいかす」の平均評価点が前年度と同様に低い傾向にある。これは、生涯学習センター遊友塾の参加者数や市民グループ学習支援事業実施団体数が減少するなど、学んだことを地域などで活かすための活動が広がっていないことなどが、その要因と考えられる。

本市において、生涯学習の一層の推進を図るためには、市民ニーズを踏まえて事業内容の充実を図ることはもとより、地域で核となる人材の育成等が大切と考える。